

市民環境常任委員会会議記録（概要）

平成25年2月22日（金）

開 会 午前9時0分

【議 事】

○議案第3号 平成24年度所沢市交通災害共済特別会計補正予算
(第1号)

【補足説明】 な し

【質 疑】

荒川委員

共済見舞金の申請について、どんな書類が必要か。

吉野交通安全
担当参事

提出の際の添付書類ですが、共済見舞金請求書、交通事故証明書、診断書、口座振替依頼書、会員証、印鑑が必要となります。

荒川委員

診断書の発行には費用がかかることから、診断書に代わるものが医療機関等で発行されていて、民間の保険会社ではそういうものでも対応しているが、所沢市もそういうもので対応はできないのか。

吉野交通安全
担当参事

診断書の代替ということですが、条例の規定に基づきまして、診断書の提出をお願いしております。

荒川委員

条例に診断書と明記されているのか。

吉野交通安全 条例に基づく規則の中で定めております。

担当参事

荒川委員 条例ではなく規則ということは、行政の判断で考慮できないのか。

吉野交通安全 原則としては、そういう形で規定されておりますので、今のところは徹
担当参事 底した形で運用させていただいております。

【質疑終結】

【意 見】

荒川委員 共済見舞金の請求について、民間の保険会社では診断書に代わるものを認めています。ぜひ、市民の立場に立って柔軟な対応をしてもらいたいということを指摘いたしまして、日本共産党所沢市議団を代表しての賛成意見といたします。

【意見終結】

【採 決】

議案第3号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第5号 平成24年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算
(第3号)

【補足説明】なし

【質 疑】

荒川委員

積立金の過去5年間の推移はどうなっているか。

石川国保年金
課長

積立金の残高ですが、平成20年度末が11万7,537円、平成21年度末が10億11万7,844円、平成22年度末が10億207万1,127円、平成23年度末が5億3,990万1,049円でございます。参考までに平成24年度末を申し上げますと、利子も含めまして、今回、補正予算をお認めいただきますと、決算の見込みとして8億8,500万円程となります。

荒川委員

国民健康保険税の税率を見直したのは、平成何年のことか。

石川国保年金
課長

一番最近では平成23年度でございます。その前は平成20年度でございます。

荒川委員

保険基盤安定繰入金の保険税軽減分と保険者支援分について、国や県の負担はあるのか。

石川国保年金
課長

保険基盤安定繰入金の保険税軽減分について、負担割合は県が4分の3、市が4分の1でございまして、一般会計から4分の1をたけた形で特別会計に入ってきます。内容としましては、保険税を低所得者に対して、7割、5割、2割の軽減を行っていますが、その軽減税額分が国保会計に補てんをされるものでございます。次に、保険基盤安定繰入金の保険者支援分ですが、軽減の7割、5割に相当する対象者の数に応じて、それぞれ一定の額を掛けた額で繰り入れを認めているものでございます。こちらの負担割合は、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1でございます。それから、財政安定化支援事業繰入金は保険者の責めに帰すことができない特別の事情がある場合に、限定的に一般会計から繰り入れを認めていただけのものです。こちらは国で計算をした数字が来るわけですが、所沢市は該当する理由として、年齢構成差による給付費の増嵩というものが根拠となっております。端的に申し上げますと、高齢者の割合が高く保険給付の負担が多いということを考慮しての繰入金でございます。

荒川委員

財政安定化支援事業繰入金について、国や県の負担はないのか。

石川国保年金
課長

こちらについては、国や県の負担はございません。

荒川委員 財政安定化支援事業繰入金だが、元々は国庫負担だったのか。

石川国保年金
課長 元から国の負担ではないと聞いております。

荒川委員 その他一般会計繰入金の運営費繰入金の減については、1億円を戻すということだが、昨日の本会議では、一人当たりの繰入額が県内40市中で29番目との説明だった。所沢市よりも金額が低い自治体と、その金額を伺いたい。

石川国保年金
課長 平成23年度の決算ベースですが、所沢市よりも金額が低い自治体は、本庄市が8,356円、上尾市が7,931円、桶川市が6,963円、久喜市が6,126円、蓮田市が5,631円、幸手市が6,384円等でございます。昨日の本会議における答弁につきましては、今回の補正予算をお認めいただければ、7,052円となるということでございます。

荒川委員 所沢市の平成23年度の一人当たりの決算金額はいくらか。

石川国保年金
課長 8,719円でございます。

荒川委員

一人当たりの繰入額の推移はどうか。

能登市民部長

平成19年度が26,764円、平成20年度が17,419円、平成21年度が8,163円、平成22年度が8,211円、平成23年度が8,719円でございます。

荒川委員

極端に繰入額が減ってきているのは、税率改正に伴うものであるということがよく分かるが、当摩市長の時にはだいたい一人当たり10,000円が目安と話をしていたが、現在の目安というのはあるのか。

石川国保年金
課長

現状でも、被保険者一人当たり10,000円というあたりが上限と考えております。

小林委員

近隣市における平成23年度の金額はどうなっているか。

石川国保年金
課長

川越市が12,469円、飯能市は0円、狭山市が20,775円、入間市が27,840円、日高市が21,948円でございます。

小林委員

近隣市での特定検診の自己負担の金額はどうか。

石川国保年金

自己負担の状況ですが、川越市、飯能市、狭山市、入間市につきまして

課長

は、いずれも無料でございます。日高市のデータは手元ございません。

【質疑終結】

【意見】

荒川委員

日本共産党所沢市議団を代表して意見を申し上げます。国保会計への一般会計から法定外の繰入金について、1億円を戻すということ、また基金に新たに3億円を積み立て、基金から取り崩したものを元に戻すということで、結局は大幅な税率改正いわゆる増税以降、毎年のように繰越金が余ってきて、それを基金に入れたり、一般会計に戻したりして、その一般会計繰入金がとうとうこんなに少なくなってきたということでもあります。当摩市長時代には一人当たり10,000円程度が目安と言っているが、計上はしているものの、基金に積み立てたりしているわけであり、実態としては繰入れがないのも同然のようなものであります。特別会計だから保険金で全てを賄うということではなく、社会保障制度であるからには、国が責任を持たなければなりません。その肩代わりをさせられているのが実態であり、そういう意味では、やはり繰入金を増額し、基金を取り崩して国民健康保険税の原資に充てるべきだということを厳しく指摘しまして、賛成の意見とします。

【意見終結】

【採決】

議案第5号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第1号 平成24年度所沢市一般会計補正予算（第8号）

当委員会所管部分（市民部）

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【議案第1号市民部所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩 午前9時26分

（説明員交代）

再 開 午前9時29分

○議案第1号 平成24年度所沢市一般会計補正予算（第8号）

当委員会所管部分（産業経済部）

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【議案第1号産業経済部所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩 午前9時30分

（説明員交代）

再 開 午前9時31分

○議案第1号 平成24年度所沢市一般会計補正予算（第8号）

当委員会所管部分（環境クリーン部）

【補足説明】なし

【質 疑】

小林委員

東部クリーンセンター費の薬剤費について、平成21年度から平成24年度までの活性炭の使用量を伺いたい。

廣川東部クリーンセンター
施設課長

焼却炉の排ガス処理用の活性炭ですが、平成21年度、平成22年度が20t、平成23年度が14t、平成24年度は20tの予定です。

小林委員

平成23年度が14tというのは、特別に何かあったのか。

廣川東部クリーンセンター
施設課長

活性炭吸着塔に活性炭を詰め込み、排ガス処理を行っていますが、充填状況により、前年度分が少しキープされていたため、少なく購入したものです。

小林委員

実際の使用量は変わらないということか。

廣川東部クリーンセンター

概ねそのとおりです。

施設課長

小林委員

プラスチック類の焼却量について、平成24年度の東西クリーンセンターのそれぞれの数値を伺いたい。

廣川 東部クリーンセンター

廃プラスチック類の焼却量ですと、東部クリーンセンターのみの焼却となりますが、平成24年度の予定数量は概ね5,800t前後と考えております。

施設課長

小林委員

東西クリーンセンターの年間焼却量について、平成24年度の見込みを伺いたい。

山下 西部クリーンセンター

西部クリーンセンターの焼却見込みは、約29,000tです。

施設課長

廣川 東部クリーンセンター

東部クリーンセンターの焼却見込みは、約61,000tです。

施設課長

小林委員

平成23年度の数値を見ているが、東西クリーンセンターともに焼却量

は増えるのか。

廣川 東部クリーンセンター
施設課長

今の状況では増加傾向です。

小林委員

全体的に減ってきているのではないのか、夏の節電の関係で西部の分を東部で処理したが、それでも西部は増えているのか。

山下 西部クリーンセンター
施設課長

そのとおりです。

小林委員

節電により、西部から東部へごみを搬入したことで、西部の薬剤使用量は減るのではないのか。

廣川 東部クリーンセンター
施設課長

薬剤の使用量は東西クリーンセンターでかなり差があり、西部クリーンセンターは年間2,000万円程度で主に排ガス処理の薬剤が多くなっています。東部クリーンセンターは排ガス処理に加えて、排水処理にもかなりの薬剤を使用しますので、3,000t弱のごみが西部から東部へシフトしていますが、西部クリーンセンターの薬剤費が余る状況ではありませ

ん。

小林委員 長寿命化計画策定については、平成20年に基礎調査をしたということ
でよいか。

山下西部クリ
ーンセンター
施設課長 平成20年度に基礎調査を行っております。

小林委員 施設の規模を減らさないということは計画に入っているのか。

山下西部クリ
ーンセンター
施設課長 現在の焼却施設を長く使うことを考えておりますので、C系炉について
は廃止しますが、A系炉、B系炉の延命化を考えております。

小林委員 長寿命化の今後のスケジュールについて伺いたい。

山下西部クリ
ーンセンター
施設課長 平成25年度には、生活環境影響調査の縦覧と長寿命化工事の発注仕様
書の作成を予定しております。平成26年度から平成28年度には、長寿
命化工事を行う予定です。

小林委員

長寿命化工事の内容について伺いたい。

山下西部ク

現在の既設状況を調べ、施設全体の更新ではなく機械設備の更新や修繕

ーンセンター

を考えております。

施設課長

荒川委員

スラグの資源化については、太平洋セメントで製品化されているが、完成品であるスラグ入りのセメントを所沢市が引き取らなければならないということはあるのか。

廣川東部ク

太平洋セメントではかなりの量を作っておりますが、引き取りなどの話

ーンセンター

はありません。

施設課長

荒川委員

アスファルトにスラグを混入するのは、市の判断で行っているのか。

廣川東部ク

砂の代わりに使うアスファルトの骨材としては、市の道路工事である程

ーンセンター

度の量を確保できるようなアスファルト工事に対して、スラグを10パー

施設課長

セント内で入れていただくというようなお願いをしております。年間予定量では、700tから1,000tのスラグを使用していただくことになります。

村上委員 スラグについて、アスファルトに混入するのと太平洋セメントで使っているものとの違いを伺いたい。

廣川東部クリ
ーンセンター
施設課長 使用方法はかなり違います。アスファルトについては、砂の代わりの骨材として使用しております。セメントの場合には、昔、神奈川の方でコンクリートにスラグを混入し、ポップアウト現象ということで剥がれ落ちるということがありました。それは骨材として使用した場合の事件です。現在、太平洋セメントには、セメントそのものの材料として、潰して粉と同じような形で使っていただいておりますので、製品や形はアスファルトとは違う使い方になります。

村上委員 そういった技術を持っている業者は太平洋セメント以外にあるのか。

廣川東部クリ
ーンセンター
施設課長 太平洋セメントだけでできる技術です。

村上委員 所沢市で出るスラグの全てをお願いすることはできないのか。

廣川東部クリ 太平洋セメントは県内全域の灰等も受け入れておりますので、熊谷市と

ーンセンター 施設の事前協議が第一前提となっており、多くの量をお願いするには弊害がござ
施設課長 います。現在のところ、3,000tまでというのが現実です。

村上委員 営業努力をすることで、受け入れてもらえる量が増える可能性はあるの
か。

廣川東部クリ 資源化することは埋め立てよりも良い方向であるので、受け入れ量を増
ーンセンター やしていただけるよう努力はしてまいりたいと思います。
施設課長

【議案第1号当委員会所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩 午前9時46分

(説明員交代)

再 開 午前9時49分

○議案第1号 平成24年度所沢市一般会計補正予算（第8号）

当委員会所管部分

【意見】なし

【採決】

議案第1号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

散 会 午前9時50分